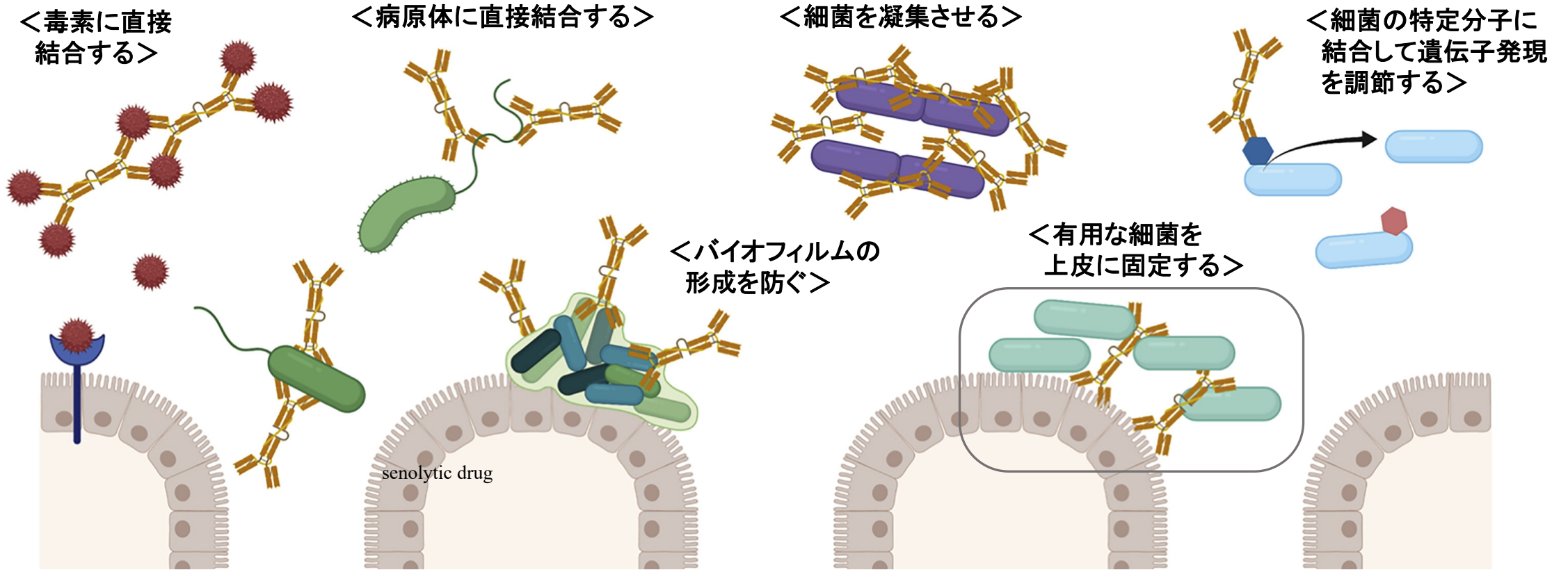


腸内細菌は登録制になっているため最初が肝心



腸管内に分泌される免疫グロブリンA(IgA)は、微生物の種類によって違った働き方をする。仲間であると判断できる微生物に対しては、粘液層への侵入や粘膜上皮への固定などを誘導する。異物(病原菌や通過菌)であると判断できる微生物に対しては、粘液層への侵入や、定着・増殖を阻止する。

Legend

Toxin and receptor

SIgA 分泌型IgA (2量体)

Flagellated pathogen

Dividing Bacteria

Bacteria with epitope

Bacteria without epitope

(原図の出典: Cell Host & Microbe, Volume 29, Issue 3, 10 March 2021, Pages 334-346)

<作成: stnv基礎医学研究室>